

事業者行動計画書~~（変更計画書）~~

2020年 7月 29日

（宛先）

滋賀県知事 三日月 大造様

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

京セラ株式会社 代表取締役社長 谷本 秀夫

（代理人） 滋賀八日市工場長 小坂 秀成

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第20条第3項~~—第20条第4項~~
第22条第1項~~—第22条第2項~~において準用する同条例第20条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定~~（変更）~~したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	京セラ株式会社 代表取締役社長 谷本 秀夫
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

1 事業所の概要

事業所の名称	京セラ株式会社 滋賀八日市工場				
事業所の所在地	滋賀県東近江市蛇溝町1166-6				
主たる事業	細分類番号	2	8	9 9	その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者				

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

計画期間	2020年度 ～ 2022年度
------	-----------------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

別紙1の通り（京セラグループ環境安全方針）

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

別紙2の通り（省エネルギー体制組織図）

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

(1)空調の省エネ

- ・高効率冷熱源設備（空冷ヒートポンプチラー）の導入
- ・エアコンの高効率機（インバータ式空冷エアコン）に更新
- ・高効率冷熱源の有効利用による旧設備の停止
- ・屋根の遮熱塗装、散水の設置
- ・空調温度管理の徹底
- ・室内へのサーキュレーター設置により、空気循環を行い、温度差を低減
- ・グリーンカーテンの設置

(2)圧縮空気の省エネ

- ・高効率機（水循環インバータ式コンプレッサー）への更新
- ・エア漏れの調査、修繕（年2回）
- ・圧力設定、露点温度の見直し
- ・圧空設備の集約化

(3)送風機、送水ポンプの省エネ

- ・インバータによる風量、流量の適正調整、自動制御
- ・エコポンプの導入

(4)モーター、トランスの省エネ

- ・高効率機の採用、更新
- ・トランスの集約による損失の低減

(5)照明の省エネ

- ・トイレ、更衣室、廊下等への人感センサー設置
- ・プルスイッチ設置による不要照明の消灯
- ・高効率照明（自社製LED）の導入（累計約12,200本導入）

(6)生産設備

- ・排熱回収利用（純水原水の加熱、空調、生産設備の温水用）
- ・断熱の強化
- ・高効率、高生産性設備の導入及び設備改造

(7)共通設備の省エネ

- ・太陽光発電の導入
- ・力率の改善：進相コンデンサの調整
- ・排熱による排水処理汚泥の乾燥

(8)推進活動

- ・環境管理委員会、省エネルギー委員会の開催（各委員会で毎月）
- ・環境月間、省エネ月間の設定
- ・近隣小学校への環境出前授業の実施（太陽電池を題材）
- ・工場見学の受け入れ

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	空調設備 (設備導入) (運用改善)	①設置年数の長いパッケージエアコンを最新設備に更新 ②夏期重負荷時の効率改善策として、室外機に散水装置を導入 ③設置年数の長いチラー、冷凍機などの熱源を最新機種に更新 ④蒸気加湿を2流体加湿に変更	2020年度 ～2022年度
2	圧空設備 (設備導入)	①圧空設備をセントラル化し、圧縮空気の製造効率を向上 ②年2回のエア漏れ巡視と修繕の実行	2020年度 ～2022年度
3	送風機・ 送水ポンプ (設備導入)	①インバーターを利用した変流量制御の導入 ②高効率ポンプへの更新	2020年度 ～2022年度
4	変圧器 (設備導入) (運用改善)	①変電所改修に合わせ、高効率機器に更新 ②変圧器の統合による損失低減化	2020年度 ～2022年度
5	照明 (設備導入) (運用改善)	①蛍光灯を自社製LEDに更新	2020年度 ～2022年度
6	生産設備 (設備導入) (運用改善)	①ガス式連続炉のエネルギー監視システム導入 ②上記システムを利用した設備効率の改善対策実行 ③生産設備の補機類の連動化	2020年度 ～2022年度

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果 ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1		特になし	

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

省エネルギー法の目標に基づき、年平均 1%のエネルギー使用量原単位の改善を図ることとし、2019 年度エネルギー使用量原単位を基準として、2020 年度に 1%改善、2021 年度に 2%改善、2022 年度に 3%以上の改善をそれぞれ図る。※原単位は下記で算出

$$\text{原単位} * = \frac{\text{原油換算エネルギー使用量 (kL)}}{\text{総生産金額 (百万円)}}$$

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

○太陽電池の生産を通じた低炭素社会づくりへの貢献

滋賀八日市工場では、太陽電池で発電した電力を有効活用できるよう蓄電池およびエネルギーを管理、制御するシステムである HEMS を開発、販売しております。

これらの太陽光発電システムは、再生可能エネルギーの消費を管理、制御するエネルギー管理製品であり、発電した電力を有効活用することで低炭素社会づくりに貢献していきます。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標：

太陽光発電システムをより有効活用できる蓄電池、HEMS を社会へ供給することにより、低炭素社会づくりに貢献に貢献します。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により 達成しようとする目標	実施スケジュール
1	環境対応車の導入	ハイブリッド車の導入推進 (社有車のリース期間終了時に切り替えを実施)	2020年度 ～2022年度
2	環境・エネルギー出前授業の実施	近隣小学校への環境・エネルギー出前授業の 継続実施 (子供たちのエコマインドの高揚)	2020年度 ～2022年度
3	工場環境施設 見学の受け入れ	工場環境施設見学の受け入れを継続実施	2020年度 ～2022年度
4	廃棄物輸送に 伴うCO2削減	産業廃棄物排出量の削減対策継続実施	2020年度 ～2022年度
5	ピーク電力 削減	・夏場の室外機、チラーへの散水による空調関係の 電力削減 ・デマンド逼迫時に構内一斉放送を行い、節電対策 を実施(空調設定温度変更等)	2020年度 ～2022年度
6	ピーク電力 削減	ゴーヤを用いた工場内でのグリーンカーテンの実施	2020年度 ～2022年度

京セラグループ環境安全方針

1. 法令およびその他事項の遵守
 - ・環境安全に関する法令、当社の同意した事項および自主基準を遵守します。
2. 地球環境に貢献する商品の提供
 - ・地球環境の改善に貢献する商品や、製品のライフサイクルを通して環境負荷を低減した商品の研究・開発および普及・拡大をはかります。
3. 持続可能な社会への貢献
 - ・バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量を抑制し、脱炭素社会への実現に貢献します。
 - ・環境負荷の少ない資源の調達、新規資源投入量や廃棄物排出量の最小化に努め、持続可能な資源の利用をはかります。
 - ・すべての工程における化学物質の適正管理により、環境汚染の防止に努めます。
 - ・自然環境への負荷を極小化し、守り育てることにより、生物多様性保全を促進します。
4. 従業員の健康・安全確保と事故災害の防止
 - ・事故災害の無い安全で安心して働ける職場の実現に向けて、事業活動に関わる全ての人が全員参加で活動を行う企業風土をつくります。
 - ・リスクアセスメントを実施し、危険源の除去および労働安全衛生リスクを低減することにより、事故災害の防止をはかります。
 - ・心身の健康増進をはかり、従業員が健康で働きがいを感じ、能力を最大限発揮できる労働環境をつくります。
5. ステークホルダーコミュニケーションの実施
 - ・様々なステークホルダーとコミュニケーションをはかると共に、社会貢献活動への参画・支援を行います。
6. 環境安全マネジメントシステムの運用
 - ・事業活動にあたり、マネジメントシステムの運用を通じて、経営理念を基本とした環境安全に関する取り組みを積極的に推進し、環境安全パフォーマンスの継続的な改善を行います。

2020年4月1日
京セラ株式会社 代表取締役社長
谷本 秀夫

八日市工場 省エネルギー管理体制組織図

